

はしがき

この本は、大学で初めて憲法を学ぶ皆さんのためのテキストとして編集されたものです。半期15回の講義で使われることを考え、全15章のオーソドックスな構成になっています。このような入門レベルのテキストはたくさんありますが、この本の特徴は次のような点にあります。

まず、各章のはじめにマンガを載せました。執筆者の考えたストーリーをイラストレーターのふじもとめぐみさんに描いて頂いたものです。これによって、各章の説明を読む前にイメージをもってもらえるのではないかと思います。本文を読む前に、可愛らしいケン太やポー子と一緒に憲法の世界を体験してみてください。

次に、本文の説明の内容ですが、知識量をしほりこみ、具体例を多く紹介することで、授業でのテキストとして使うだけではなく、一人で読んで学修することもできるように工夫しました。

憲法の学修というと、ひたすら暗記するものだと考えてしまうかもしれませんが、そうではなく、憲法の考え方を理解することが大切です。抽象的な説明もありますが、具体例の手助けを借りて、どのようなことを言おうとしているのか考えてみてください。また、巻末には憲法の条文も載せていますので、面倒がらずにこまめに条文を見ながら学修をすすめると理解が深まることと思います。

この本を読んで憲法に興味関心の湧いてきた読者のために、「読書案内」のページでは次に読むべき本も紹介していますので、ぜひ挑戦してみてください。

憲法は、自由で民主的な日本という社会の骨組みとなるものですが、憲法がその役割を果たし続けるためには、市民による支えが必要不可欠です。これからの日本社会を担う大学生の皆さんが、この本を通じて憲法の基本的な考え方を知って頂ければ、執筆者一同、大変嬉しく思います。

最後に、この本ができるに当たっては、色々な方のお世話になりました。特に、ふじもとめぐみさんには、憲法のテーマをマンガにするという難しいお願いをしましたが、素敵な作品に仕上げてくださいました。また、企画・編集の全体にわたり、法律文化社の梶原有美子さんに大変お世話になりました。執筆者を代表して厚くお礼を申し上げます。

2018年1月

執筆者を代表して

曾我部 真裕